

県消防救助技術指導会出場チーム選考会

◎消防本部総務課
☎ 32-3119



▲1人が空気呼吸器を着装して長さ8mの煙道内を検索し、要救助者を救助します。

日頃の訓練の成果を披露する

県大会出場者



- 川畑 亮 消防副士長** (左から1番目)
支えてくれたすべての人たちへ感謝し、最高の結果を残せるように頑張ります！
- 川添 翔平 消防副士長** (左から2番目)
チームメイトの川畑君、職場の方々、いつも支えてくれた家族への感謝の思いを胸に頑張ります。
- 新福 拓也 消防副士長** (左から3番目)
安全・確実・迅速に入賞および優勝を目指します！
- 川村 誠哉 消防副士長** (左から4番目)
訓練で積み重ねてきたことを発揮し、入賞目指して「確実・迅速」に救出できるように頑張ります。



▲要救助者を抱え、2人で安全時点まで搬送します。

第45 鹿児島県消防救助技術指導会の署内選考会が、4月25日に消防署牛根分遣所で開催されました。
これは、救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養い、他の模範となる消防救助隊員の育成等を目的としています。
当日は、ビル等で煙に巻かれた人を救助するための訓練である『ほふく救出』の種目に3組(2人1組)が出場し、日頃の訓練の成果を披露しました。

令和5年度垂水市防災点検

総務課 安心安全係
☎ 内線 223

令和5年度垂水市防災点検を、4月26日に牛根麓地区、田神地区、新城地区で実施しました。

これは、毎年梅雨時期を前に、災害危険箇所や復旧工事現場等を、自衛隊や警察等の関係機関と合同で点検するものです。

今回は、土砂災害現場の3箇所を点検しました。各所で、災害復旧工事の状況や、地形・周辺道路の確認、山(崖)崩れ、地すべり等の危険箇所(地域)の確認を行い、関係機関との連携強化、災害応急対処能力の向上を図りました。

本市では、今後も自然災害に備えて、早めの避難やハード、ソフト両面の対策を推進して、安心・安全なまちづくりに努めてまいります。



▲土砂災害現場を点検する様子(田神地区)

第23回錦江湾奥会議

企画政策課 政策推進係
☎ 内線 245



▲中重市長(霧島市)



▲尾脇市長



▲錦江湾奥の発展のため様々な議論がされました。



▲湯元市長(始良市)



▲下鶴市長(鹿児島市)

錦江湾の湾奥部に位置する鹿児島市・垂水市・霧島市・始良市の4市で構成される第23回錦江湾奥会議が5月2日に霧島市で開催されました。
これは、『湾奥』をキーワードに環境・観光・防災・広報の各専門部会での事業実施や課題解決、今後の取組について協議するものです。
当日は、昨年度実施された事業の報告や今後の取組として、『桜島大噴火の際の降灰、土石流、津波、地震等への防災対策及び災害時相互協力体制の確立』等をテーマに広域的な観点から協議がなされました。
本市は、今後も様々な施策・事業について、3市と知恵を出し合い、協働することにより、地域活性化を図ってまいります。